

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-211231

(43)Date of publication of application : 11.08.1998

(51)Int.Cl.

A61F 13/15  
A61F 5/44

(21)Application number : 09-018040

(71)Applicant : UNI CHARM CORP

(22)Date of filing : 31.01.1997

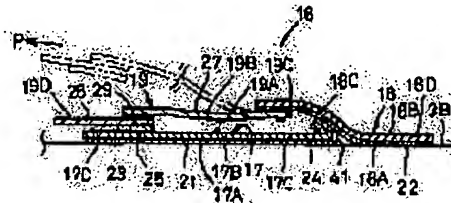
(72)Inventor : SOGA HIROYUKI  
INOUE TOSHIO  
MUKAI TAKATOMO  
TAKIGAWA YOSHIKAZU

## (54) DISPOSABLE TYPE BODY FLUID ABSORPTIVE ARTICLE TO BE WORN

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent an outer surface sheet of a body fluid absorptive article to be worn from being damaged by elongation of an elongating strip member for waste disposal to be used for rolling the article after it is contaminated.

SOLUTION: A strip member 16 for waste disposal disposed on an outer surface sheet 3B of a body fluid absorption article is composed of a first strip member part 17 jointed with the outer surface sheet 3B, a second strip member part 18 jointed with the outer surface sheet 3B in an aligned relation to the first strip member part 17, and a third strip member part 19 connected to at least one of the first and the second strip member parts 17, 18 at one end, with the other end part set as a free end part for holding in such a way that both ends can be elongated from each other. The third strip member part 19 is detachably attached to the first strip member part 17 by an attaching zone 23. The first and the second strip member parts 17, 18 have such holding force as to be stopped at the outer surface sheet 3B when the third strip member part 19 is removed from the first strip member part 17 to be elongated, where holding force of the first strip member part 17 is set to be similar to or larger than that of the second strip member part 18.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3217289

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-211231

(43) 公開日 平成10年(1998) 8 月11日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

A 6 1 F 13/15  
5/44

A 4 1 B 13/02  
A 6 1 F 5/44

M  
H

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平9-18040

(22) 出願日

平成 9 年(1997) 1 月31日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 曾我 洋行

香川県三豊郡豊浜町大字和田甲434-28

(72) 発明者 井上 敏男

香川県三豊郡豊浜町和田浜761-2

(72) 発明者 向井 敬智

愛媛県川之江市妻鳥町2173-2

(72) 発明者 滝川 善和

香川県三豊郡豊浜町和田浜761-2

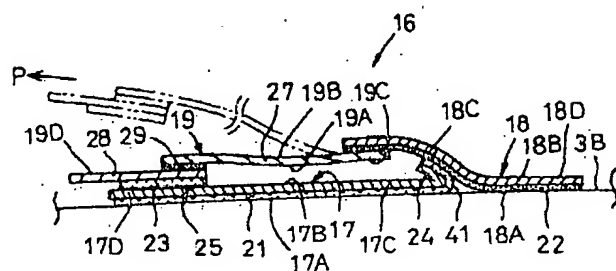
(74) 代理人 弁理士 白浜 吉治

(54) 【発明の名称】 使い捨ての体液吸収性着用物品

(57) 【要約】

【課題】 汚れた体液吸収性着用物品を丸めておくために使用する伸長性の廃棄処理用帯片を伸長したときに、その伸長によって該物品の外面シートに損傷を与えることがないようにする。

【解決手段】 体液吸収性物品の外面シート 3 B に配設される廃棄処理用帯片 1 6 が、外面シート 3 B に接合している第 1 帯片部分 1 7 と、外面シート 3 B に接合して第 1 帯片部分 1 7 と整列関係にある第 2 帯片部分 1 8 と、一端部が第 1、2 帯片部分 1 7、1 8 の少なくとも一方に連結してその一端部の反対端部が摘持用自由端部であり、これら両端間が伸長可能に形成されている第 3 帯片部分 1 9 とによって構成される。第 3 帯片部分 1 9 は、止着域 2 3 で第 1 帯片部分 1 7 と剥離可能に止着している。第 1、2 帯片部分 1 7、1 8 それぞれは、第 3 帯片部分 1 9 が第 1 帯片部分 1 7 から剥離して伸長されたときに、外面シート 3 B に留めておかれるように作用する保持力を有し、その保持力は、第 1 帯片部分 1 7 のそれが第 2 帯片部分 1 8 のそれよりも大きいかまたはそれと等しく設定されている。



部それぞれの近傍において互いに離間して前記面に接合しており、

長性帯片部分は、前記基端部が前記第1帯片部分第1端部に連結して、前記自由端部の止着域非伸長性帯片部分の第2端部近傍の外面と剥離可着しており、

長性帯片部分が前記非伸長性帯片部分から剥離し、前記止着域において前記着用物品の前記非当止着したときに、これら両帯片部分が前記伸長性部分に生じた伸長力に抗して前記非当接面に留められるように作用する保持力を有し、前記非伸長性帯片部分において前記第2端部近傍に生じる前記保持力前記第1端部近傍に生じる保持力よりも大きいかまそれと等しく設定されていることを特徴とする前記

【請求項5】 前記伸長性帯片部分の前記止着域は、前記長性帯片部分の保持力が、前記非伸長性帯片部分の第1端部近傍に生じる保持力よりも高くなり得るよ構成されている請求項1記載の着用物品。  
発明の詳細な説明】

0001】  
発明の属する技術分野】この発明は使い捨ての体液吸性物品に関し、より詳しくは、廃棄処理するときに帯を使用して丸めておくことができる該物品に関する。

【0002】  
【従来の技術】実開昭58-22908号公報には、汚れた使い捨ておむつを丸めたり、折り畳んでおくために使用する粘着性帯片を備えた使い捨ておむつが開示されている。この帯片を使用すると、おむつの汚れた部位が露出しないから、衛生上からも外観上からも好ましい。

【0003】  
【発明が解決しようとする課題】EP0 732 094 A2に開示されたおむつでは、この種帯片として、長手方向に伸長性または伸縮性のものが使用されている。そのような帯片は、使用前の寸法を比較的短くして、おむつ着脱の際の邪魔にならないようにすることができる。

【0004】かかる伸長性または伸縮性の帯片は、それを使用するときに長く伸ばして丸めた物品に巻きつける。帯片を伸ばしたときには、物品表面に固定されている帯片の端部に、それを物品表面から剥離させようとする力が作用する。帯片の端部が弱く固定されていれば、簡単に剥離して物品から外れる原因となり、強く固定されていれば、時として物品の表面を構成するシートが破れて、その破れた部位からは物品内部の汚れた吸収体のぞいて見えたり、汚物臭が漏れたりするという問題を生じることがある。

【0005】そこでこの発明は、廃棄処理用の帯片が、物品から簡単に外れたり、物品表面に損傷を与えたりすることがないようにすることを課題にしている。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 着用者の肌に対する当接面と非当接面とを有し、前記当接面から着用者の体液を吸収可能な体液吸収性物品の前記非当接面に、前記物品廃棄処理時に該物品を小さく丸めておくことが可能であって、少なくとも一方向への伸長性を有する廃棄処理用帯片を備えた使い捨ての体液吸収性着用物品において、

前記帯片は、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の第1帯片部分と、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の第2帯片部分と、内外面並びに基端部及び自由端部を有しかつ該自由端部が該内面に止着域を有し該基端部及び自由端部の間が伸長可能に形成された第3帯片部分とから構成されており、

前記第1及び第2帯片部分は、それぞれの内面において前記非当接面に接合していて、互いにそれらの長さ方向へ整列して該第1及び第2帯片部分の両第1端部が同長さ方向に対向しており、前記第1帯片部分の第1端部が前記第2帯片部分の第1及び第2端部の間に連結し、前記第3帯片部分は、前記基端部が前記第1、2帯片部分の両第1端部の少なくとも一方に連結していて、前記自由端部の止着域が前記第1帯片部分の第2端部近傍の外面と剥離可能に止着しており、

前記第3帯片部分が前記第1帯片部分の第2端部近傍から剥離して伸長し、前記止着域において前記着用物品の非当接面と止着したときに、前記第1、2、3帯片部分のそれぞれは前記第3帯片部分に生じる伸長力に抗して前記非当接面に留めておかれるように作用する保持力を有し、該保持力は、前記第1帯片部分のそれが前記第2帯片部分のそれよりも大きいかまたはそれと等しく設定されていることを特徴とする前記着用物品。

【請求項2】 前記第3帯片部分の止着域は、前記第3帯片部分の保持力が、前記第1、2帯片部いずれの保持力よりも高くなり得るように構成されている請求項1記載の着用物品。

【請求項3】 前記第2帯片部分の保持力は、前記第3帯片部分の伸長に伴い該第2帯片部分が所要程度の緊張状態になると前記非当接面から剥離し得るように形成されている請求項1または2記載の着用物品。

【請求項4】 着用者の肌に対する当接面と非当接面とを有し、前記当接面から着用者の体液を吸収可能な体液吸収性物品の前記非当接面に、前記物品廃棄処理時に該物品を小さく丸めておくことが可能であって、少なくとも一方向への伸長性を有する廃棄処理用帯片を備えた使い捨ての体液吸収性着用物品であって、

前記帯片は、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の帯片部分と、内外面並びに基端部及び自由端部を有しかつ該自由端部が該内面に止着域を有し該基端部及び自由端部の間が伸長可能な伸長性帯片部分とから構成されていて、前記非伸長性帯片部分が前記第

1、2端部それぞれの近傍において互いに離間して前記非当接面に接合しており、

前記伸長性帯片部分は、前記基端部が前記第1帯片部分の前記第1端部に連結していて、前記自由端部の止着域が前記非伸長性帯片部分の第2端部近傍の外面と剥離可能に止着しており、

前記伸長性帯片部分が前記非伸長性帯片部分から剥離して伸長し、前記止着域において前記着用物品の前記非当接面と止着したときに、これら両帯片部分が前記伸長性帯片部分に生じた伸長力に抗して前記非当接面に留めておかれるように作用する保持力を有し、前記非伸長性帯片部分において前記第2端部近傍に生じる前記保持力が、前記第1端部近傍に生じる保持力よりも大きいかまたはそれと等しく設定されていることを特徴とする前記物品。

【請求項5】 前記伸長性帯片部分の前記止着域は、前記伸長性帯片部分の保持力が、前記非伸長性帯片部分の前記第1端部近傍に生じる保持力よりも高くなり得るように構成されている請求項1記載の着用物品。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は使い捨ての体液吸収性物品に関し、より詳しくは、廃棄処理するときに帯片を使用して丸めておくことができる該物品に関する。

## 【0002】

【従来の技術】実開昭58-22908号公報には、汚れた使い捨ておむつを丸めたり、折り畳んでおくために使用する粘着性帯片を備えた使い捨ておむつが開示されている。この帯片を使用すると、おむつの汚れた部位が露出しなから、衛生上からも外観上からも好ましい。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】EP0 732 094 A2に開示されたおむつでは、この種帯片として、長手方向に伸長性または伸縮性のものが使用されている。そのような帯片は、使用前の寸法を比較的短くして、おむつ着脱の際の邪魔にならないようにすることができる。

【0004】かかる伸長性または伸縮性の帯片は、それを使用するときに長く伸ばして丸めた物品に巻きつける。帯片を伸ばしたときには、物品表面に固定されている帯片の端部に、それを物品表面から剥離させようとする力が作用する。帯片の端部が弱く固定されていれば、簡単に剥離して物品から外れる原因となり、強く固定されていれば、時として物品の表面を構成するシートが破れて、その破れた部位からは物品内部の汚れた吸収体が見えたり、汚物臭が漏れたりするという問題を生じることがある。

【0005】そこでこの発明は、廃棄処理用の帯片が、物品から簡単に外れたり、物品表面に損傷を与えたりすることがないようにすることを課題にしている。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、この発明が前提とするのは、着用者の肌に対する当接面と非当接面とを有し、前記当接面から着用者の体液を吸収可能な体液吸収性物品の前記非当接面に、前記物品廃棄処理時に該物品を小さく丸めておくことが可能であって、少なくとも一方向への伸長性を有する廃棄処理用帯片を備えた使い捨ての体液吸収性着用物品を前提にしている。

【0007】かかる前提において、この発明が特徴とするところは次のことにある。すなわち、前記帯片が、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の第1帯片部分と、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の第2帯片部分と、内外面並びに基端部及び自由端部を有しかつ該自由端部が該内面に止着域を有し該基端部及び自由端部の間が伸長可能に形成された第3帯片部分とから構成されており、前記第1及び第2帯片部分は、それぞれの内面において前記非当接面に接合して、互いにそれらの長さ方向へ整列して該第1及び第2帯片部分の両第1端部が同長さ方向に対向しており、前記第1帯片部分の第1端部が前記第2帯片部分の第1及び第2端部の間に連結し、前記第3帯片部分は、前記基端部が前記第1、2帯片部分の両第1端部の少なくとも一方に連結して、前記自由端部の止着域が前記第1帯片部分の第2端部近傍の外面と剥離可能に止着しており、前記第3帯片部分が前記第1帯片部分の第2端部近傍から剥離して伸長し、前記止着域において前記着用物品の非当接面と止着したときに、前記第1、2、3帯片部分のそれぞれは前記第3帯片部分に生じる伸長力に抗して前記非当接面に留めておかれるように作用する保持力を有し、該保持力は、前記第1帯片部分のそれが前記第2帯片部分のそれよりも大きいまたはそれと等しく設定されていること。

【0008】また、前記前提において、この発明が特徴とするところの他の一つは次のことにある。すなわち、前記帯片が、内外面並びに第1及び第2端部を有する実質的に非伸長性の帯片部分と、内外面並びに基端部及び自由端部を有しかつ該自由端部が該内面に止着域を有し該基端部及び自由端部の間が伸長可能な伸長性帯片部分とから構成されていて、前記非伸長性帯片部分が前記第1、2端部それぞれの近傍において互いに離間して前記非当接面に接合しており、前記伸長性帯片部分は、前記基端部が前記第1帯片部分の前記第1端部に連結して、前記自由端部の止着域が前記非伸長性帯片部分の第2端部近傍の外面と剥離可能に止着しており、前記伸長性帯片部分が前記非伸長性帯片部分から剥離して伸長し、前記止着域において前記着用物品の前記非当接面と止着したときに、これら両帯片部分が前記伸長性帯片部分に生じた伸長力に抗して前記非当接面に留めておかれるように作用する保持力を有し、前記非伸長性帯片にお

いて前記第2端部近傍に生じる前記保持力が、前記第1端部近傍に生じるそれよりも大きいまたはそれと等しく設定されていること。

## 【0009】

【発明の実施の形態】この発明に係る使い捨ての体液吸収性物品として使い捨ておむつを例に取り、添付の図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

【0010】図1に部分破断斜視図で示された使い捨ておむつ1は、パンツ型のものであって、熱可塑性合成繊維からなる不織布製の透液性内面シート2と、熱可塑性合成樹脂フィルム製の不透液性第1外面シート3Aと、第1外面シート3Aの外面にホットメルト接着剤（図示せず）を介して間欠的に接合する不織布製の第2外面シート3Bと、これら内面シート2と第1外面シート3Aとの間に介在する吸液性コア4とによって構成され、前胴周り域（前身頃）6と、後胴周り域（後身頃）7と、これら両域6、7間に位置する股下域8とを有する。内面シート2と第1、2外面シート3A、3Bとは実質的に同形同大で、第1、2外面シート3A、3Bは一体となって外面シート3を形成している。内外面シート2、3は、コア4の周縁から延出し、その延出する部分の内面どうしがホットメルト接着剤（図示せず）を介して互いに接合している。また、前後胴周り域6、7の左右側縁部は、互いに合掌状に重なり合い、上下方向へ間欠的に配設された複数の部位9において溶着することにより接合している。かくして、おむつ1には、胴周り開口部11と、左右一対の脚周り開口部12とが形成される。後胴周り域7の左右を二分する中心線C-C上には、汚れたおむつ1を捨てるときに、それを丸めたり、折り畳むために使用する廃棄処理用の帯片16が配設されている。

【0011】図2は、図1のC-C線に沿った帯片16の断面図である。帯片16は、内外面17A、17B並びに第1及び第2端部17C、17Dを有する第1帯片部分17と、内外面18A、18B並びに第1及び第2端部18C、18Dを有する第2帯片部分18と、内外面19A、19B並びに基端部及び自由端部19C、19Dを有する第3帯片部分19とを有する。これら第1、2、3帯片部分17、18、19は、同じ幅を有する。

【0012】第1帯片部分17は、おむつ1の上下方向（図の左右方向）へ延びる実質的に非伸長性の材料で構成され、内面18Aが第1粘着剤21によって第2外面シート3Bに接合し、おむつ1の下方に位置する第1端部17Cの一部分24が上方へ折り返されている。かかる折り返して第1帯片部分17には折曲線41が生じている。第1帯片部分17と第2帯片部分18とは、それらの第1端部17C、18Cが対向するように長さ方向へ整列するとともに、第1帯片部分17の第1端部17Cが第2帯片部分18の第1、2端部18C、18Dの

間に連結している。

【0013】第2帯片部分18は、非伸長性材料で構成されていて、内面18Aが第2粘着剤22によって第2外面シート3Bの外面に接合している。第1端部18Cの内面18Aには、第1、2粘着剤21、22を介して第1帯片部分17の折り返し部分24が接合している。折り返し部分24がこのように接合することで、折曲線41が第2帯片部分18によって被覆されている。被覆された折曲線41は角張ることがなく、徒に着用者の肌を刺激することがない。

【0014】第3帯片部分19は、伸長性シート材料からなる伸長部27と非伸長性シート材料からなる非伸長部28とで構成され、これら両部27、28が第4粘着剤（または接着剤）29を介して接合している。第3帯片部分19の基端部19Cは、伸長部27の下端部分（図の右端部分）であって、第1、2帯片部分16、17のうちの少なくとも一方の第1端部17Cまたは18Cに連結する。図では、該基端部19Cが第2粘着剤22を介して第1端部18Cに連結している。第3帯片部分19の自由端部19Dは、非伸長部28を含む部分であって、第1帯片部分17の第2端部17Dよりもおむつ1の上方へ延出し、摘持することが容易である。自由端部19Dの内面19Aの一部には第3粘着剤23が塗布されてなる止着域25が形成されていて、この止着域25が、第1帯片部分17の外表面17Bと剥離可能に止着している。

【0015】図3は、帯片16を使用して丸められたおむつ1の斜視図である。帯片16は、自由端部19Dを摘持して第1帯片部分17の外表面17Bから剥離し、図2の矢印P方向（図1のおむつ1の上方向）へ引っ張ると伸長部27が伸びるから、その伸びた帯片16を丸めたおむつ1に巻きつけるようにして止着域25をおむつ1の適宜の部位、例えば第2外面シート3Bに止着する。このようにすることで、排泄物で汚れたおむつ1が、汚れた部位を露出させることなく廃棄できる。

【0016】帯片16において、第3帯片部分19の伸長部27は、非伸長部28と第2帯片部分18とに対して実質的に剥離することがないように強く接合している。第2帯片部分18と第1帯片部分17も同様に実質的に剥離することがないように接合している。

【0017】ただし、第1帯片部分17と第2帯片部分18とが第2外面シート3Bの外表面に接合する状態は、次のとおりである。第3帯片部分19が、第1帯片部分17から剥離してP方向へ伸長され、止着域25において丸めてあるおむつ1の第2外面シート3Bに圧着されると、第1、2、3帯片部分17、18、19は、それぞれ第2外面シート3Bに留まろうとする。そのときに各部分17、18、19が有する保持力は、 $H_1$ 、 $H_2$ 、 $H_3$ であって、それらは $H_1 \geq H_2$ 、より好ましくは $H_3 > H_1 \geq H_2$ のように設定されている。加えて、第2帯片部

分18の保持力 $H_2$ は、帯片16をP方向へ引っ張ったときに、第2外面シート3Bが破れる前に第2帯片部分18が剥離し、第2外面シート3Bに殆ど損傷を与えることがないように設定されている。また、第1帯片部分17の保持力 $H_1$ は、保持力 $H_2$ と同じであるかまたはそれよりも大きく設定されている。帯片16は、第2帯片部分18が剥離すると、第1帯片部分17を介して第2外面シート3Bに保持される。その状態で帯片16がさらにP方向へ引っ張られていると、第1帯片部分17は、その一部が第2外面シート3Bから剥離することがある。ただし、その剥離が進めば、引っ張られている帯片6の緊張が弛緩して、やがてその剥離が停止する。これらの保持力 $H_1$ 、 $H_2$ 、 $H_3$ は、各帯片17、18、19が第1、2、3粘着剤21、22、23によって第2外面シート3Bに接合することで発生する。各保持力 $H_1$ 、 $H_2$ 、 $H_3$ の大小は、各粘着剤21、22、23の粘着力や塗布面積によって調整することができる。ただし、第3帯片部分18の保持力 $H_3$ は、止着域25を圧着するときの力の影響を受ける。第3帯片部分19の止着域25は、僅かな力で圧着されても $H_3 > H_1 \geq H_2$ なる条件を満たすことができるように構成されていることが好ましい。

【0018】図4は、帯片16の態様の一例を示す図2と同様の図面である。この帯片16では、第1帯片部分17が第1粘着剤21と第5粘着剤35とを介して第2外面シート3Bに接合している。また、第1帯片部分17の下方（図の右方）に位置する一部分24が第2帯片部分18に熱溶着によって接合し、第3帯片部分19の基端部19Cもまた第2帯片部分18に熱溶着で接合していて、これら帯片部分17、18、19は互いに実質上剥離することがない。第2外面シート3Bに対する第1帯片部分17の保持力 $H_1$ は、第1粘着剤21と第5粘着剤35とによる保持力 $h_1$ 、 $h_5$ の和と考えることができる。第1粘着剤21は、第2帯片部分18が剥離した後もまだ帯片16がP方向へ強く引っ張られているときには、第2外面シート3Bから剥離し得る程度の保持力 $h_1$ を有する。一方、第5粘着剤35の保持力 $h_5$ は、第1粘着剤21の保持力 $h_1$ よりも強いまたは同程度である。帯片16は、それが強く引っ張られておむつ1に巻きつけられているときに、第2粘着剤22と第1粘着剤21とが順次剥離すると、巻きつけられていた長さが第1帯片部分17の第1粘着剤21から第5粘着剤35へ至るまでの長さLだけ伸びるから、その伸びた分だけ帯片16が弛緩する。帯片16は、その弛緩による効果と第5粘着剤35の強い保持力 $h_5$ とによって、おむつ1から剥離することがない。

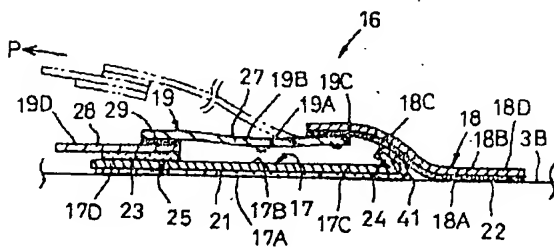
【0019】図5は、帯片16のさらに他の態様を示す図4と同様の図面である。ただし、この帯片16は、第1帯片部分17と図4の第3帯片部分19に相当する伸長性帯片部分19とだけで構成されている。第1帯片部

分17の構成は、図4のそれと同じであるが、伸長性帯片部分19は、伸長部27が第1帯片部分17の折り返された部分24に接合している。第1帯片部分17は、互いに離間して配設された第1粘着剤21と第5粘着剤35とによって第2外面シート3Bに接合している。第5粘着剤35の保持力 $h_s$ は、第1粘着剤21のそれよりも強いまたは同程度である。第1粘着剤21は、伸長性帯片部分19が伸長されて過度な緊張状態にあるときに第2外面シート3Bから剥離し、その帯片部分19を弛緩させることができる。ただし、第1帯片部分17は、図4の場合と同様に第5粘着剤35の保持力 $h_s$ によっておむつ1から剥れることがないように固定されている。この帯片16では、第1帯片部分17の折り返しによって生じた折曲線41が肌に直接触れる可能性があるため、その折曲線41が角張って徒に肌を刺激することがないように、第1帯片部分17には特に柔軟な素材を使用することが好ましい。

【0020】この発明において、帯片16は、パンツ型の使い捨ておむつ1の他に開放型のおむつやトレーニングパンツ、失禁パンツ、生理用ナプキン、吸尿パッド、包帯等の使い捨ての体液吸収性着用物品に使用できる。伸長性帯片部分19の伸長部27は、弾性的に伸縮してもよいし、非弾性的に伸長してもよい。第1粘着剤21や第2粘着剤22が第2外面シート3Bから剥離可能であるためには、それら第1、2粘着剤21、22の粘着力を調整する他に、第2外面シート3Bに適宜の表面処理を施して剥離性を調整することもできる。おむつ1の外面シート3は、図示例のプラスチックフィルム3Aと不織布3Bの積層品ではなくて、プラスチックフィルム3Aまたは不織布3Bだけであってもよい。帯片16の伸

【0021】第3帯片部分19の第3粘着剤23は、商

【図2】



品名マジックテープやベルクロテープで知られるメカニカルファスナに代えることができる。ただし、代える場合には、第1帯片部分17や第2外面シート3Bにメカニカルファスナの止着が可能な素材を使用する。

## 【0022】

【発明の効果】この発明に係る使い捨ての体液吸収性着用物品では、該物品を丸めて廃棄するとき使用する伸長可能な帯片の一部分が該物品の外面シートに対して剥離可能な状態で取り付けられているから、帯片が過度な緊張状態にあるときには、その部分が外面シートから剥離して帯片を弛緩させ、外面シートに生じるかもしれない破れその他の損傷を未然に防ぐことができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】使い捨ておむつの部分破断斜視図。

【図2】図1のC-C線部分断面図。

【図3】丸められたおむつの斜視図。

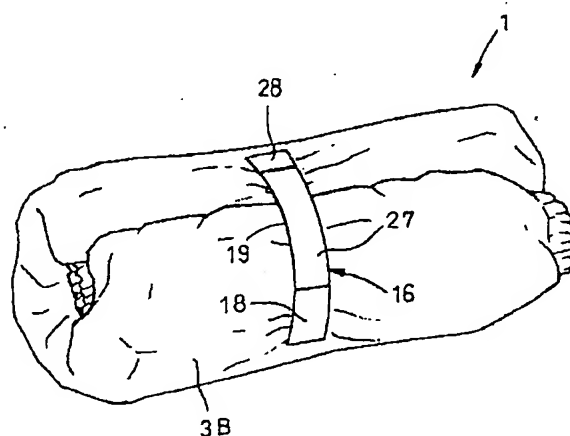
【図4】発明の一実施態様を示す図2と同様の図面。

【図5】発明の他の一実施態様を示す図2と同様の図面。

## 【符号の説明】

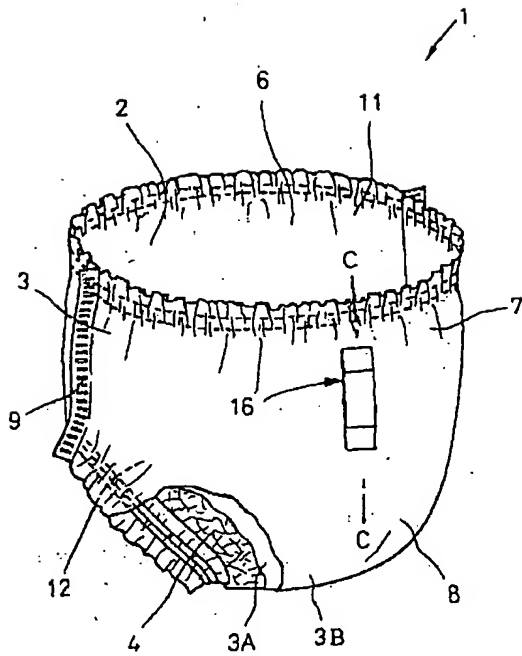
- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1             | おむつ             |
| 16            | 帯片              |
| 17            | 第1帯片部分          |
| 18            | 第2帯片部分          |
| 19            | 第3帯片部分（伸長性帯片部分） |
| 23            | 止着域             |
| 28            | 自由端部            |
| 17A; 18A, 19A | 内面              |
| 17B, 18B, 19B | 外面              |
| 17C, 18C      | 第1端部            |
| 17D, 18D      | 第2端部            |
| 19C           | 基端部             |
| 19D           | 自由端部            |

【図3】

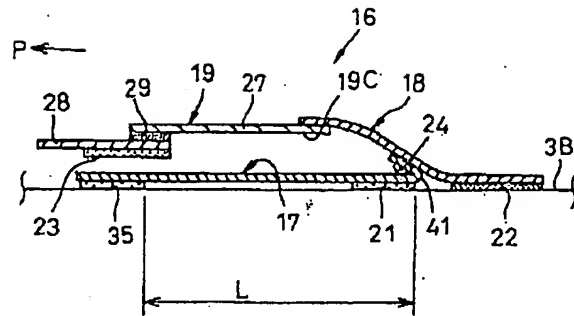




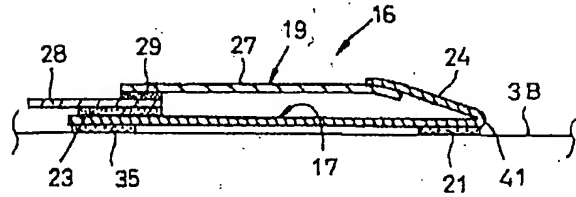
【図1】



【図4】



【図5】



## 【手続補正書】

【提出日】平成9年5月7日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【請求項2】 前記第3帯片部分の止着域は、前記第3帯片部分の保持力が、前記第1、2帯片部分いずれの保持力よりも高くなり得るように構成されている請求項1記載の着用物品。

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**